

つなごて

2018年
冬号

～事業予定～

- 12月6日 理事会
- 12月6日 忘年会
- 12月15日 クリスマスミニフェスタ
(キャンドル教室・木工教室・スイーツ作り)
- 2月2日 結の灯りOPイベント
- 2月6日 新年会
- 2月10日 魚沼雪合戦大会
(ゴミ分別活動・木工教室・キャンドル教室)
- 2月中旬 パレンタインミニフェスタ
(キャンドル教室・木工教室・スイーツ作り)
- 3月上旬 山仕事安全講習会(座学)
- 3月中旬 山仕事安全講習会(実地)

2018年11月30日発行
 発行：NPO法人魚沼交流ネットワーク
 総務部・事務局
 住所：〒946-0023 魚沼市干溝 1848-1
 魚沼市小出郷文化会館内
 TEL:025-792-1336 FAX:025-792-6776
 Mail: npo@uonumakara.com
 URL: <http://www.uonumakara.com/npo/>
 Facebook: <https://www.facebook.com/npouonuma/>



「木育」とは、幼児期

から原体験としての木材とのかかわりを深め豊かな暮らしづくり、地域・社会づくり、そして森づくりに貢献する市民の育成を目指す活動です。

単に木についての理解を深めるだけでなく鋭い感性や自然への親しみ、森林や環境問題に対する確かな理解を育むものです。木材の温かさや優しさを知らない人からは、木材利用は森林の破壊や環境の悪化にとられがちです。特に日本は昔から木の文化を育んできました。生活の中で炊きをし、暖房用に木を燃やし、其の灰や炭を利用し循環型社会を営んでいました。しかし現在は遠い中東などから石油を輸入し、家を建てる木材も棺でさえ多くが中国やロシアからの



ブナの木馬



檜の卵プール

輸入品です。そして

これから日本の

文化や風土を学

ぶべく幼児期にプ

ラスチックやビニ

ル品のおもちゃや

器を使い自然か

ら徐々に離れてい

くことを危惧し

10月に「おもちゃ

キャラバン」を誘

致し幼児から大

人まで木に親し

み、楽しんでいた

きました。魚沼市

は総面積の84%

を占める森林を持

ついています。これ

輸入に頼らず、地

産地消することで

地域に産業が生ま

れ雇用を創出し、

お金が市内で廻り

ます。身近にこれ

だけ役に立つ木材があります。それを活用し、次世代に繋げてゆく必要性を感じています。木育を市民で考えに行きましょう。

写真は「おもちゃキャラバン」の様子です。



木琴で演奏



木のパズル

記 桑原 郁夫

Facebookに注目！！



今回一番注目された記事はエコ事業部の小出まつりゴミ収集活動の記事でした！(8月上旬～10月末)



随時情報発信中！「いいね」してね♪

～事業報告～

- 9月1日 ホリカフーズ感謝祭協賛 森の学校木工教室
- 9月2日 森の学校 遊歩道整備
- 9月15日 十五夜まつり協賛 踊ろう会
- 9月20日 理事会開催
- 9月27日 武蔵野第一小学校 自然体験受け入れ補助
- 9月27日 響きの森連絡協議会
- 9月30日 只見線で行く本の街と温泉ツアー開催
- 10月6日 里山まつり ゴミ分別指導・森の学校木工教室
- 10月21日 貸し切り列車【tadamipic GO】
てくてく大白川開催
- 11月1日 だんだんど～も只見線沿線元気会議主催
只見線活性化紅葉ツアー
- 11月3日 スポーツごみ拾い大会共催
- 11月9日 女性の為の雪囲い講座
- 11月25日 だんだんど～も只見線沿線元気会議主催
只見線活性化シンポジウム

※今年度より会館自主事業は
母子手帳をお持ちの妊婦さんご招待♪



<h3>真冬の激熱ライブ</h3> <h4>「ゆきんこ High Tension!」</h4> <p>日時…2月24日(日)16:00～ 会場…魚沼市小出郷文化会館 小ホール 料金…前売り一般 2,000円 高校生以下 1,000円 (当日 500円増し) 出演者…アイデンティティ・フースーヤ DJ YAGI・ze:MAN・ジャックポット・Casis・ALO</p>	<h3>アートの体験ひろば</h3> <h4>「わら細工」受講生募集</h4> <p>しめ縄を作ります！</p> <p>日時…12月9日(日) 13:30～16:00 会場…魚沼市小出郷文化会館 2階大ホールロビー 料金…1,000円 講師…吉田延吉さん・滝沢幸夫さん・ 梅田幸三さん</p>	<h3>魚沼映画の専門店</h3> <h4>『夜明け告げるルーのうた』</h4> <p>日程…12月8日(土)・9日(日) ※時間はチラシ等でご確認下さい 会場…魚沼市小出郷文化会館 小ホール 料金…一般 1,000円 学生、シニア 800円 魚沼市内小中学生とご家族、 PTA 関係者 500円</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

魚沼市小出郷文化会館 自主事業
おすすめプログラム♪

●「スポーツ」ごみ拾い大会 in 魚沼「お手伝い」

11月3日秋晴れの中、魚沼で初開催のスポーツごみ拾い大会のお手伝いに行ってきました。この競技は拾ったゴミによりポイントが付いており、量とゴミの質によって勝敗が決まります。参加者は小出スキー場をスタートして、本町周辺のゴミ拾いをしました。競技が終了し戻ってくると、「思ったよりゴミが無かった」という感想が多く聞かれました。日頃から綺麗な町であることが証明されて良かったです。



事務局 伊藤 萌

■忘年会のお知らせ

日程…12月6日(木)18時30分～
会場…梅野屋
参加費…4,000円
その他…とよのみささんによるミニライブ有り！

プレゼント交換をしますので、1,000円以内でご用意下さい。

～編集後記～

まもなく魚沼の長い、長い冬が始まりますね。皆さんは冬を迎える準備は出来ていますか？
忘年会、新年会シーズンがやってきます。体調管理やお財布の管理をしっかりして、楽しい時間を過ごせますように☆☆☆

うものも知った。八色スイカの選果場では、ベルトコンベアで運ばれるスイカや、箱入れ・箱積みする機械を間近で見学させてもらい、大人たちから歓声が上がった。稲刈り見学では、農業不使用の圃場でトンボの多さに驚き、広神にあるカントリーエレベーターの内部も見させてもらった。

どの生産者からも、農家に嫁に行けばよかったと思うほど、農業の面白さが良く伝わってきた。

生産者の思いがわかり改めて食べ物大切にしよう！とした矢先、夫が夕食で「味付けがやつつけ仕事みたいでおいしくない」と一言。立て続けに兄から「料理は愛情を確実に伝えられる手段」との苦言。自分では子どもに食品添加物はあまり取らせたくないからレトルト調味ソースは極力使わない、素材の味を覚えさせたい、夫の健康に減塩、脂肪少なめ！と意識したつもりが、出汁のとりの方を知らない薄味実践は、ただの物足りない食事だったようだ。夫と兄の言葉に腹を立て随分落ち込んだが、丹精込めて作られた農産物を調理が台無しにはいけないと反省した。長女の感想は「どの体験も楽しかった。八色スイカがすごくおいしかった。苦手なナスはちよつと好きになった。」であった。

キッズくらぶ事務局(魚沼市役所健康課)の櫻井さんは「子供達に、食べる事の楽しさと食べ物に対する感謝の気持ちを持って欲しい。自然の生き物、生産者、加工や食事を作ってくれる人があって、初めて食べ物として口に運ばれるという事を知って欲しい。田植えや生き物調査で積極的に田んぼに入る子供たちの姿が印象的で、農業に興味があるんだなと知った。もっと魚沼の自然を楽しんで欲しい。」と話し、次はこんなこともやってみたい、と企画案を話してくれた。来年度も開催を検討しているとのことなので、皆

さんのお子さん、お孫さんにぜひお褒めしたい。

記 品田 美幸

つなごて事業部 交流研修事業 行って来ました！只見町！

『只見線の活性化

に寄与する」とも

に、自然首都を標榜

し、ユネスコエコパ

ークに認定された福

島県只見町との交

流を深め、併せて、

会員相互の親睦を

深めることを目的』

として、当法人つな

ごて事業部が呼びか

け、だんだんどうも

只見線沿線元気会議が共催する「只見線で行く、本の街と温泉ツアー」に参加しました。

9月30日のツアー当日夜半から台風24号の新潟県直撃情報のなか、小出駅に集合9名、数神駅から乗車1名の10名の参加。只見線列車内で副理事長の開会挨拶に続き、参加者各自の自己紹介でツアー開幕。大白川駅では、そば仕込み中の浅井監事に線路を挟みご挨拶。

車中談義に花が咲き、あつという間に只見駅到着。女性陣は、日頃、野菜を作っているにも関わらず、駅前の野菜臨時売店でさっそく買い物交流。因みに元気のいい売り子は、ウン10年前に小出町から只見町に嫁いだ同級生。



只見町観光まちづくり協会の紹介による駅周辺を散策(プリンを食し...)した後、本の街「たまく」へ移動。「たまく」は、自然に恵まれた只見の山を残したい...。都会の人にオーナーになつてもらい、1年に1回でも只見に遊びに来てもらえれば...。という訳で、1994年1月から「あなたの本と只見の森を交換します」という事業を始めた。当時、マスコミに多く取り上げられ、主宰者の吉津耕一氏が蘇る。参加者それぞれ、ずらりと並んだ棚からお好みの本を手にする。

女性陣は、本よりもお隣の物産店「げんき村」にてママタお買い物。「げんき村」のオーナーは、魚沼特使の藤田力氏。久しぶりの再会にて、お茶を飲みながら、えごま畑や棚田整備など現状の取り組みを伺う。藤田氏の見送りを受けながら、お迎えのバスにて季の郷「湯ら里」へ。

季の郷「湯ら里」は、只見町交流促進センターとして町が設置し、(株)ホテル季の郷「湯ら里」が指定管理者として運営する宿泊施設。様々なイベント、宿泊・日帰りパックを用意し、魚沼市からのリピーターも多い。今回の日帰りパックは、駅まで送迎、温泉付き、地元料理満載松花堂弁当飲み放題プラン(副理事長お墨付きの只見限定米焼酎「ねっか」付)。まずは温泉に入り、昼食懇談会スタート。女性陣お住まいの地域談義で盛り上がる。

只見線で途中下車の方もいるため、湯ら里での閉会挨拶の後、帰路へ。途中、大白川駅で、平石亭が終わったばかりか、窓から浅井夫妻が笑顔で手を振りお見送り。台風の到来前に予定どおり小出駅に到着。まつたりーのんびりツアーを堪能しました。

事務局 小幡 誠



魚沼市内でなにやら楽しそうな事を行っている若者たちを発見したので、再びこの懐かしのコーナーを復活させちゃいます！

こんにちは！ うおぬま若者会議です。

私たちは魚沼市内の39歳以下の男女が集まり「魚沼市の若者がやりたい事を仲間と一緒に実現する場所を作り魚沼を最高にエンジョイする人を増やす事」を目的に掲げ活動しています。

現在の活動状況として、目的を達成する為に議題を持ち寄り討論する会議を毎月1回行っています。

また様々な視点から魚沼を楽しむ為に設置した部活動では、写真を通して魚沼を楽しみながら交流・表現をする「うおぬま写真部」と気軽に友達作りがモットーの「GOZABA部(ぎざ部)」が活動しており、その他慈善活動として各種イベント等へ協力・参加しています。

うおぬま若者会議の始まりは2016年12月に若者で集まった飲み会の中で「私たちが住むこの土地で」「せつかならもっと楽しみたい！」「自分たちに何かできない



か！？」という熱い意見から自然と集まるようになってきました。

その後数回の交流会で親睦を深めつつ翌年3月から定例会議を開始し2017年9月の団体設立へと繋がりました。

正式に団体が設立してから早1年。まだまだ駆け出しの団体でうまく行かない事も沢山ありますが色々なメンバーの意見が飛び交う集まりは本当に面白く思います。

今後も2017年3月から欠かさず行っている月1回の会議を継続し、魚沼を盛り上げるべく若者がやりたい事をサポートする場、一緒に創り上げていく場として活動していきたいと思えます。

最後に若者の皆さんへ！

何かイベントを企画したい人・友達を作りたい人・とにかくエンジョイしたい人・何かしたいけど何して良いかわからない人！一緒にその「何か」をやりましょー！！

うおぬま若者会議 会長 枝松 聡

Facebook ↓ <https://www.facebook.com/wkmmkaigi/>

魚沼で子育て

あぐりくんキッズくらぶ

今年、娘2人と一緒に「食まちうおぬまネットワーク推進協議会」と「北魚沼農業協同組合(以下、JA)」が主催している「あぐりくんキッズくらぶ」に参加している。

食まちうおぬまとは、食が循環する社会の実現により市民・農家・企業、そして市全体を元気にしようという魚沼

市の取組みの事である。協議会は市内の様々な団体、企業等から構成されており、市が事務局を担っている。

あぐりくんキッズくらぶは、JAが実施していた農業体験に食まちうおぬまがコラボして昨年からはじまった。魚沼産農産物の生産現場での体験・見学を通じて食の関心を高め、食べることの楽しさや、食べ物への感謝の気持ちを醸成すること、農業後継者を育成することを目的として、市内小学生と保護者を対象に開催している。年度初めに参加者募集があり、定員は先着25名。今年は1年間で6回の農業体験などを開催している(田植え体験、田んぼの生き物調査、スイカ圃場・選果場見学、深雪なす圃場・集荷場と稲刈りの見学、JA米穀雪室貯蔵庫の見学と食育セミナー、郷土料理の調理実習)。開催日時は、土曜日の午前9時〜午前11時半。



土曜日のたった2時間半、これなら2歳児を連れてでも参加できそう。長女に田植え体験をさせたい！と安易に申し込んだ。参加してみると、田んぼの生き物調査は、網などの道具を借り、ポケット図鑑で捕まえた生き物の名前を調べた。ピオトープとい